

# WWWブラウザ

# Hot Line Vol.8

## THIS MONTH'S TOP NEWS

### ネットスケープコミュニケーター5.0のHTML表示機能はこうなる!

今月もブラウザのセキュリティに関する話題が多い。相次ぐ問題の発見とその修正プログラムの公開についていくのはたいへんだが、情報をしっかりチェックすることが重要だ。セキュリティの話題に入る前に、次期ネットスケープコミュニケーターに関する最新の話題をお届けしよう。

#### コンパイル済みの「NGLayout」

次期ネットスケープコミュニケーター5.0の開発を続けているmozilla.orgには、コミュニケーター本体とは別に、HTMLやスタイルシート、スクリプトの表示プログラム「NGLayout」を開発するプロジェクトがあり、このプログラムもまた、ソースコード公開によって開発が進んでいる。先月お伝えしたように、mozilla.orgのFTPサイトでコンパイル済みのコミュニケーター5.0 (mozilla.exe) が毎日公開されるようになったが、このNGLayoutも同じくコンパイルされた形でFTPサイトから入手できるようになった。現在ウィンドウズ版とUNIX (Linux) 版が公開されている。

#### NGLayoutを使うには

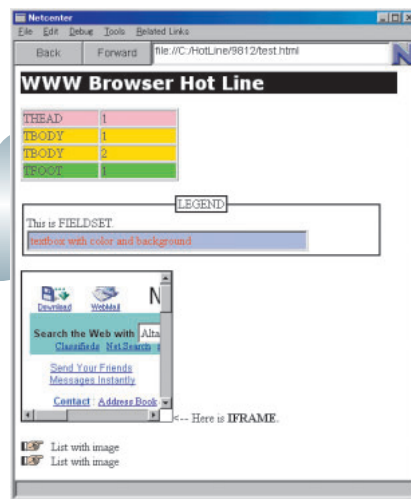
ダウンロードしたファイルを解凍するとたくさんのファイルが出てくるが、その中の「viewer.exe」が表示テスト用のプログラムとなっている。viewer.exeを起動すると、右の画面のように簡単なメニューだけを持ったウィンドウが現れる。このウィンドウの内部を表示しているプログラムが

将来のコミュニケーター5.0にはめこまれることになるわけだ。なお、viewer.exeを実行するにはVisual C++のデバッグ用のDLLファイルが必要だ。また、開発途中のプログラムなので、危険なバグが含まれている可能性もあることに注意しよう。

#### どんな機能がサポートされたか

NGLayoutの目標には、HTML 4.0およびCSS1のフルサポートとCSS2の部分的なサポート、JavaScriptによるDOM Level 1 (右ページ参照)のフルサポートが掲げられている。10月12日版のNGLayoutをテストしたところ、ナビゲーター4.0と比べてHTMLとCSSで以下の機能が使えるようになったことがわかった。

- ・ テーブル内の構造化 (THEAD、TFOOT、TBODY)
- ・ インラインフレーム (IFRAME)
- ・ フォームの構造化 (FIELDSET、LEGEND)
- ・ 画像付きリスト (list-type-image)
- ・ ブロック要素にbackground-colorを指定すると、全体に背景色が付く。



- ・ フォームの部品にbackground-colorやcolorを指定できる。

これらの機能を一般ユーザーが手に入れられるのはまだ先のことになるが、標準機能をサポートしたコミュニケーター5.0によってHTMLの互換性の問題が解消される方向に向かうのは間違いない。

#### URL:

<ftp://ftp.mozilla.org/pub/newlayout/nightly/>

## THIS MONTH'S TOP NEWS

# ネットスケープコミュニケ - ター 4.07 英語版公開

### 4.07 はバグ修正版

ネットスケープナビゲーター3.0およびコミュニケーター4.0のすべてのバージョンのJavaScriptにセキュリティ問題が発見された。ウィンドウズ版、マッキントッシュ版、UNIX版のすべてが影響を受ける。これに対し、ネットスケープは問題の修正版であるコミュニケ - ター4.07を公開した。この問題は、悪意のあるサイトがJavaScriptを使ってナビゲーターのキャッシュを読み取り、ユーザーが訪れたURLの履歴を得ることができるというプライバシー関連のバグだ。URLの履歴の中にCGIで送信した文字列を含むものがあれば、ユーザーがウェブページ上で入力した名前や住所、IDやパスワードが盗まれてしまう可能性もある。現在公開されているのは英語版のみで、

日本語版はまだ公開されていない(10月14日現在)。4.07日本語版が入手できるまでの間、この問題に対応するには、「設定」画面の「詳細」で「JavaScriptを有効にする」のチェックをはずせばよい。

### 新たな問題も見つかる

ところが、4.07が公開されてから数日で、また別のセキュリティ問題が発見された。悪意のあるサイトがユーザーのクッキー情報を読み出せるというプライバシーに関するバグだ。4.07を含め、ナビゲーター3.0、コミュニケーター4.0、4.5プレビューリリースのすべてのバージョンが影響を受ける。修正プログラムはまだ公開されていない。この問題への対策も「JavaScriptを有効にする」のチェックをはずすことだ。



セキュリティ問題を伝えるネットスケープのページ。ユーザーは情報収集に努めよう。

### URL :

- ・コミュニケ - ター4.07英語版  
<http://home.netscape.com/download/>
- ・セキュリティ問題に関する情報  
<http://home.netscape.com/products/security/resources/notes.html>

## ★★★コングレツ「TOPICS!」★★★

### IEのセキュリティ問題続く

IE 4.0のJavaScriptに今月もセキュリティ問題が発見された。コピー&ペースト機能を使ってユーザーのハードディスク上のファイルが読めるというもの。修正プログラムは10月14日現在まだ公開されていない。

一方、最近公表されたIEやアウトLOOKエクスペスの修正プログラムが、ウィンドウズ98のアップデート用サイト「Windows Update」からダウンロードできるようになった。現在、以下の問題の修正プログラムがダウンロードできる。

- ・メールの添付ファイル問題
  - ・JavaScriptの「Windows.External」問題
  - ・JavaScriptの「Cross Frame」問題
- まだ問題を修正していないウィンドウズ98ユーザーは、ここからインストールするとよいだろう。

URL:  
<http://windowsupdate.microsoft.com/>

### ネットスケープ、IE用のアドオンソフトを発表

ネットスケープは、IE 4.0用のアドオンソフト「Netscape TuneUp for IE」を10月末に公開すると発表した。発表によれば、このアドオンソフトをインストールすると、IE 4.0上でナビゲーター4.5のSmart Browsingの各機能、つまりInternet Keywords(アドレスの代わりに単語を入力して移動する機能)とWhat's Related(関連サイトの表示機能)が使えるようになる。また、「My Netscape」など、ポータルサイトNetcenterとの統合機能も利用できる。IEユーザーにも、ブラウザとポータルサイトとの融合した世界をもたらそうという考えだ。ブラウザメーカーとしてマイクロソフトと競争する立場から、Netcenterのポータルサイト化に力を注ぐ姿勢に変化した最近のネットスケープをよく表しているソフトといえる。

URL:<http://home.netscape.com/newsref/pr/newsrelease681.html>

### W3C、DOM Level 1の勧告を公開

W3C(World Wide Web Consortium)は、「DOM(Document Object Model) Level 1」を正式勧告として公開した。DOMとは、HTMLおよびXML文書をJavaScriptやJavaなどのプログラミング言語で処理するための汎用的なAPIを規定したものだ。HTMLやXMLを処理するプログラムの互換性や再利用性が大幅に向上することが期待される。

JavaScriptの基本的な文法を規格化したECMAScriptに加えてDOMが登場したことで、互換性が大きな問題になってきたIEとナビゲーターのJavaScriptが統一に向かうことも考えられる。ただし、DOMはアニメーションの書き方などを定義しているものではないので、IEとナビゲーターどちらでも動くダイナミックHTMLが書けるようになるわけではない。

URL:  
<http://www.w3.org/TR/REC-DOM-Level-1/>



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)